

岩手県は復興五輪と銘打った東京五輪で復興をアピールする為に、カナダか何処かの国の練習等のキャンプ地に立候補するそうです。震災で何の被害も無かった内陸の盛岡に居て、復興をアピールって何かムカつきます。実際に被害のあった被災地、被災者を出汁にするのは止めて頂きたい。東京五輪だって招致した時と状況は激変し、コンパクトな五輪という構想は何処に行ったのか、グダグダになっているのではないか。あんな五輪が成功しようが、失敗しようが被災地の復興には一切関係無い。無理矢理こじつけるのは止めるべき。未だ自宅再建、生活再建出来ない人が多い中、五輪など興味ある訳が無い。復興をアピール？復興していないのに「復興した、五輪は大成功」とアピールするのが既定路線なのでしょう。経済効果？そんな物は私達、普通の被災者には関係も無ければ恩恵も無い。アマチュアの祭典ではなく、単なる商売と化し、利権を漁る為の五輪など要りません。

最近、雨が降れば何等かの災害が発生するのは本当に怖いです。因みに私が御世話になっている NPO は九州北部豪雨では大分県まで支援物資を持って救援に行き、炊き出し等もやりましたが、何度も何度も豪雨被害が出ている秋田には救援に行くという話が全然ありません。色々な事情もあるのですが、一番大きな理由は報道量の差です。繰り返し繰り返し、被災地の状況を報道された所に支援物資を送ったり、ボランティアを連れて行ったりする事が多いのです。これだけ災害が多発すると、民間団体との位置付けの NPO では全ての被災地を支援するのは不可能です。でも、支援する為の予算は行政から交付されているという事を考えると被災しても支援して貰えない人達は不公平だと感じる事もあるでしょう。

震災前は支援という話を聞いてもどこか絵空事というか、現実感が無かったのですが、震災後は NPO でバイトする事が多かった為、少しですが仕組みも分かり、こういう活動は非常時には必要だと理解する事が出来ました。しかし、支援する被災地を選ぶ？際、テレビの報道量が基準というのだけは、正直、納得がいかないんですよね。報道では被害の大きかった地区だけを重点的に報道しますし、観ている方としては全体が被害を受けたと錯誤する事も多いのですが、実際、被災地に行ってみると、被災した災害現場は一部の地域だけという事が多く、映像で観た光景と全然違うとを感じる事も多々あります。

被災した方には申し訳ないのですが、メディアの取材を受け、報道された被災者の居る所に支援が集中してしまい、そうでない人はないがしろにされてしまうのです。支援する側も主な情報源がニュースなので仕方が無いのかもしれませんが、それでいいのでしょうか。

被災して苛立っている時に、「今の御気持ちは？」と聞かれても私は素直に答える事が出来ませんでした。私は、「上手く言えば色々支援して貰えるかもしれませんよ」と言われたので取材を断った事がありました。床上浸水しただけで「今まで生きてきた証も思い出も全て‘流されました’」と自宅の前で答えている人を観た時、複雑な気持ちになりました。

岩手県大槌町 小川 孝幸